

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 12日

事業所名 児童デイサービスセンター ピース

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点等	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		・余裕をもって基準を満たしている。	
	2 職員の配置数は適切である	6	1		・適切に配置している。	・割当を見直し、より良い支援環境となるように努める。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	2	・現利用児童に対しては障壁が無い様に整備している。	・利用児童の特性や変化に対応し、必要により随時解消を進めていく。
業務改善	4 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1			
	5 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	1			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	2		・外部評価を活用し、業務改善につなげていきたい。
	7 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適切な 支援の 提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	9 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	1		・アセスメントツール活用方法の共有を進める。
	10 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	1		
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	12 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3			
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1			
	14 支援開始前に職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容などについて確認している	4	1	2		・情報の共有にバラツキの無い様に努める。
	15 支援終了後に職員間で、その日の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	1	・特記事項等あれば共有している。	
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2			
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	1			
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	1			
19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1				

関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1		
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4		・必要により、より積極的に図っていく。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	1	・必要により随時行っている。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	3	・交流を求めない保護者・児童もおられる為、総合的に判断しながら判断して行く。
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6		1	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		
	27	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	4	・家庭での悩み・困りごとを積極的に吸い上げ、チームで支援をおこなっていく。
	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	32	個人情報に十分注意している	6	1		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	1	・式典の開催、町民祭への参加をおこなっている。
	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			

非常時等の対応	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	1		・現在身体拘束の必要性は全く無い為、計画へ記載していません。やむおえず必要な可能性がある場合は、組織的に決定し、保護者への説明及び了解を得た上で計画にも記載する。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	2	・指示書がある場合には確実に共有し対応している。	
	40	ヒヤリハット事例を記録して事業所内で共有している	5	2			